

# 長養館(改修)

設計 志水正弘+林公子/名城大学環境創造学科

施工 北野建設

所在地 新潟県上越市

JAPANESE-STYLE RESTAURANT & INN CHOUYOUKAN

architects: MASAHIRO SHIMIZU + KIMIKO HAYASHI

DEPARTMENT OF ENVIRONMENTAL SCIENCE AND TECHNOLOGY MEIJO UNIVERSITY



上：玄関前から取次を見る。玄関の床は繊維入珪藻土。壁は京織帷壁。／右頁：約8年で全面改修された旅館。雁木と正面玄関を見る。屋根は銅板一文字葺き、カラ一鉄板長尺一文字葺き、外壁はモルタル塗漆喰調仕上げ、開口部は木製ガラス戸（一部アルミサッシュ）とされている。





上：1階北側の「一番」と呼ばれる部屋から、広縁1方向を見る。／右頁：広縁2から広縁1を見通す。右側にそれぞれ二番、一番が面している。

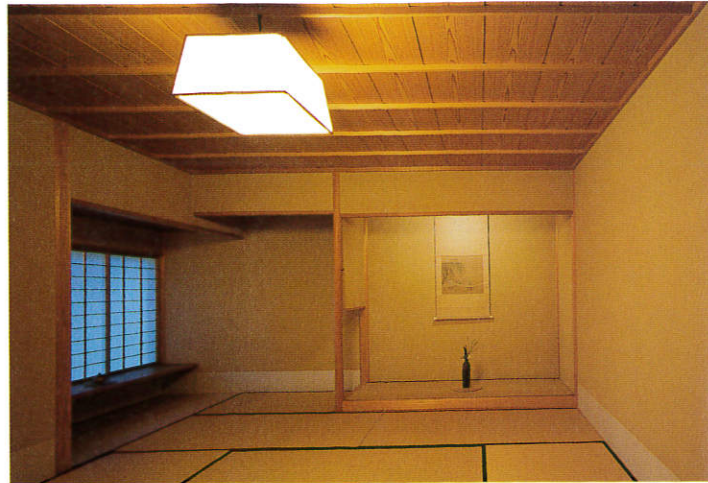


広縁1と一番。床は畳敷込み、壁は京織維壁紙貼り、天井はスギ中至板平縁天井。





取次から続く中央廊下。西側を見通す。



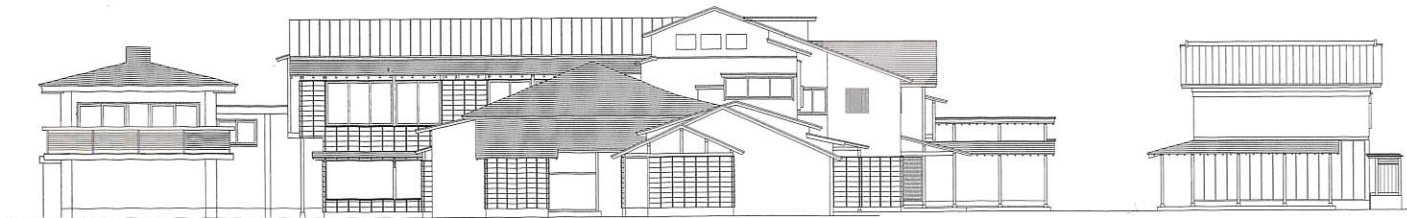
菊の間。床脇に書院襖が設けられている。



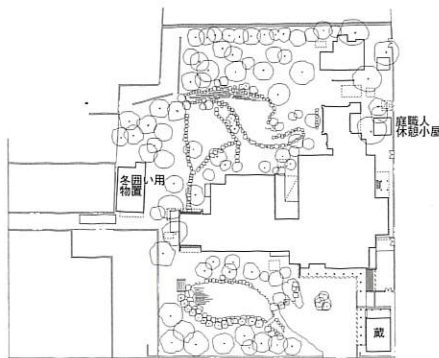
2階大広間（手前15畳、奥27畳）。天井はスギ中空化粧石膏ボード張りおよび手繰天井。



立面

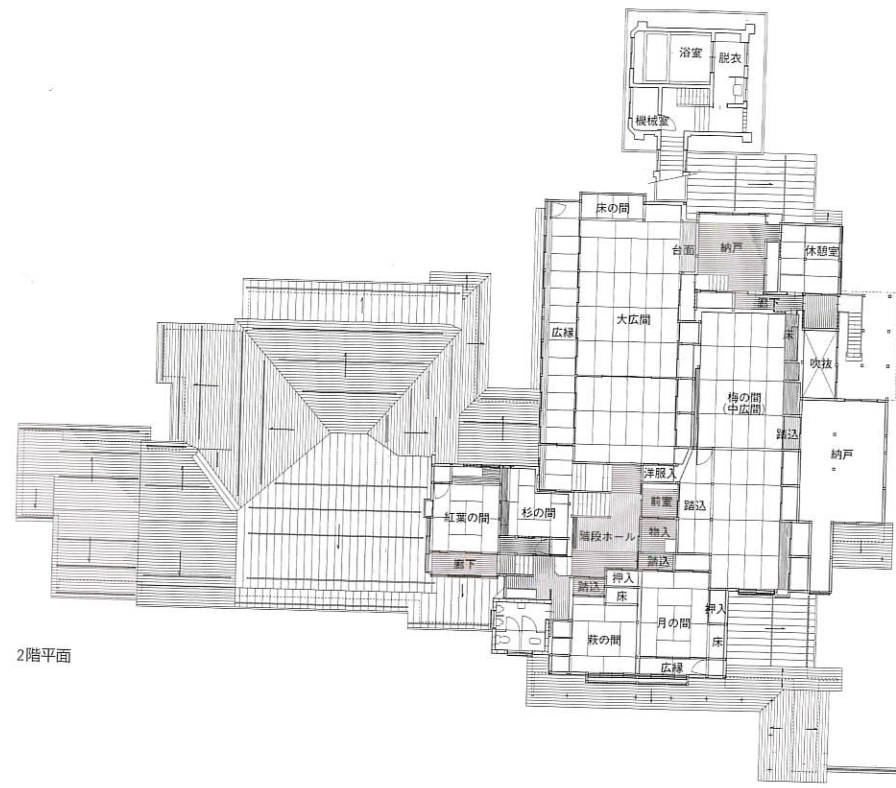


立面 縮尺1/300

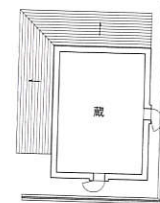


配置 縮尺1/1,600

設計 建築 1期：志水正弘・林公子+横川正広建築設計事務所  
 2・3期：志水正弘・林公子+北野建設一級建築士事務所  
 設備 北野建設一級建築士事務所  
 施工 北野建設  
 敷地面積 3,596.43m<sup>2</sup> / 建築面積 897.53m<sup>2</sup> / 延床面積 1,272.05m<sup>2</sup>  
 階数 地上2階  
 構造 木造  
 工期 1期：1994年5月～1994年12月 / 2期：2000年6月～2000年10月 / 3期：2002年5月～2002年7月  
 撮影 松岡満男



2階平面



1階平面 縮尺1/400

私は歴史家でも数奇屋の研究者でもない、一建築家として数奇屋をどうとらえるかということはずで、「旅館 蓬萊」(本誌8107)、「あさば旅館」(同0002)で述べてきたので詳細はここでは省略したい。今、多くの日本人は自己主張すべく教育を受けてきたがゆえに、巷のほとんどの人も物も自己主張している。建築もしかりである。つくったほうは気持ちがいちよかもしれないが、それを使ったり、見たりするほうは疲れてしまう。数奇屋の概念のひとつに「足るを知る」というものがあると思う。この概念の上に今回の設計と取り組むこととなった。「長養館」は、明治初期の頃から現在地より少し東の地で料理屋をしており、現在の地に移転したのが明治25年とのことで、その後第2次大戦中に料理屋営業が停止され、1947年より割烹と宿泊の二本立てで営業を続けてきた。1994年より3期に分けて改修工事を行い現在に至ったものである。1期工事は1階部分の玄関回り・一番、二番・奥の間・菊の間・竹の間・松の間・桜の間・厨房・裏方と2階部分の萩の間・月の間、2期工事は大広間・1階トイレ回り・奥と桜の間の水回り、3期工事は藁の間で、今後も改修工事は続いていくものと思われるが、一応ここで一区切りということである。冒頭でいったようにこの一連の設計を通して、ずっと貫いてきたことは、「知足の美」すなわちすべてに対して人間は謙譲でなくてはならない。それが引いては人間の尊厳をも表現し、平和で静かな空間になるはずだということであった。そして、それは人にとって気持ちのよい空間になるはずである。今、ここに至りそれが実現できたかどうかは定かでないが、この改修工事の後、当館利用者の多くの滞在時間が大幅に伸びていることを聞き、この設計の目的は達成できたのではないかと考えている。(林公子)



雁木が配された母屋の外観。手前左は蔵。



南側の庭。手前左は菊の間の広縁。

長養館

所在地 新潟県上越市寺町2-1-8
主要用途 割烹旅館
建主 長養館
設計
建築 1期：志水正弘・林公子+横川正広
建築設計事務所
2・3期：志水正弘・林公子+北野建設一級建築士事務所
担当/林公子 横川正広 村井次郎
設備
北野建設一級建築士事務所
担当/内堀喜公男 宮島隆俊 竹内俊樹
監理 志水正弘・林公子+北野建設一級建築士事務所
担当/志水正弘 林公子 村井次郎

施工
建築 北野建設
担当/内田正一 安達一夫
空調 衛生 高菱
電気 ユアテック高田営業所
面積
敷地面積 3,596.43m²
建築面積 897.53m²
延床面積 1,272.05m²
1階 831.43m²/2階 440.62m²
建べい率 24.96% (許容：60%)
容積率 35.37% (許容：200%)
階数 地上2階
寸法
最高高 8,450mm
軒高 5,935mm
階高 1階：3,135mm
天井高 大広間：2,550mm
地域地区 第1種中層住宅専用地域 準防火地域
道路幅員 東5.0m 南5.5m
駐車台数 28台
構造 木造
抗・基礎 布基礎
空調設備
空調方式 空冷ヒートポンプ方式
熱源 電気
衛生設備
給水 直結給水方式
給湯 局所給湯方式
排水 浄化槽方式
電気設備
受電方式 高圧受電方式
設備容量 150KVA
防災設備
消火 屋内消火栓設備 自動火災報知設備
その他 非常照明・誘導灯設備
設計期間
1期：1992年10月～1994年4月
2期：1999年4月～2000年5月
3期：2001年12月～2002年4月
施工期間
1期：1994年5月～1994年12月
2期：2000年6月～2000年10月
3期：2002年5月～2002年7月
工事費
総工費 301,000,000円
外部仕上げ
屋根 銅板一文字置き カラー鉄板長尺一文字置き
外壁 腰：スギ下見板張キシラデコール塗装 壁：モルタル塗漆喰調仕上げ
開口部 木製ガラス戸 (一部アルミサッシ)
内部仕上げ
玄関

床 織織入珪藻土 (大阪ガスケミカル ケーソータキ)
壁 京織維壁 (シコク化成 ジュラックスC)
天井 スギ板格天井
待合1 待合2 竹の間
床 畳敷込み
壁 京織維壁腰紙貼り (シコク化成 ジュラックスC)
天井 スギ中空化粧石膏ボード張り 竿縁天井
菊の間 松の間 桜の間 蕨の間 月の間 萩の間
床 畳敷込み
壁 京織維壁腰紙貼り (シコク化成 ジュラックスC)
天井 スギ中空化粧石膏ボード張り 竿縁天井
便所
床 ヒノキ縁甲板張り
壁 腰：スギ羽目板 壁：京織維壁 (シコク化成 ジュラックスC)
天井 スギ中空化粧石膏ボード張り 竿縁天井
大広間
床 畳敷込み
壁 京織維壁腰紙貼り (シコク化成 ジュラックスC)
天井 スギ中空化粧石膏ボード張り 竿縁天井
問合せ tel. 025-523-5481
URL http://www.niks.or.jp/chouyukan/



設計者・執筆者

香山壽夫 (こうやま・ひさお)
1937年東京都生まれ/1960年東京大学工学部建築学科卒業/1962年同大学大学院修了/1965年ペンシルヴェニア大学美術学部大学院修了後、アメリカ、イギリスにて設計活動/1968～71年九州芸術工科大学助教授/1971～86年東京大学助教授/1971年香山アトリエ (環境造形研究所) 設立 (現、香山壽夫建築研究所) /1975～76年イェール大学客員研究員/1982年ペンシルヴェニア大学客員教授/1986年工学博士/1986～97年東京大学教授/1997年東京大学名誉教授/1997～2002年明治大学理工学部教授/2002年～放送大学教授

村松映一 (むらまつ・えいいち)
1938年生まれ/1963年早稲田大学理工学部建築学科卒業後、竹中工務店/1985年同東京本店設計部設計部長/1991年同取締役設計本部長/1996年同常務取締役/2002年～専務取締役

播繁 (ばん・しげる)
1938年福岡県生まれ/1963年日本大学卒業後、鹿島建設/1980年同技術長/1986年～小編二研究所を兼務/1989年同副部長を経て、KAJIMA DESIGN構造設計部長/1998年播設計室 (VAN STRUCTURAL DESIGN) 設立

内田繁 (うちだ・しげる)
インテリアデザイナー/1943年神奈川県生まれ/1966年桑沢デザイン研究所卒業/1970年内田デザイン事務所設立/1981年スタジオ80設立/現在、札幌大学、東京造形大学客員教授/メトロポリタン美術館、サンフランシスコ近代美術館、モントリオール装飾美術館、デンヴァー美術館等に永久コレクション多数

宿谷昌則 (しゆくや・まさのり)
1953年東京都生まれ/1976年早稲田大学理工学部建築学科卒業/1982年同大学大学院修士課程修了、工学博士/1983～85年日建設計/1988年武蔵工業大学工学部建築学科助教授/1988～89年カリフォルニア大学ローレンスバークレー研究所客員研究員/1995年武蔵工業大学教授/1998年～同環境情報学部教授/2001年～同大学院環境情報学研究科教授

田辺新一 (たなべ・しんいち)
1958年福岡県生まれ/1980年早稲田大学理工学部建築学科卒業/1984年同大学大学院修士課程修了、工学博士/1984～86年デンマーク工科大学暖房空調研究所/1992～93年カリフォルニア大学バークレー校環境計画研究所/1992～99年お茶の水女子大学生活科学部助教授/1999年早稲田大学理工学部建築学科助教授/2001年～同大学教授、デンマーク工科大学客員教授

太田浩史 (おおた・ひろし)
1968年東京都生まれ/1991年東京大学工学部建築学科卒業/1993年同大学大学院修士課程修了/1993～98年同大学助手/1999年千葉大学非常勤講師/2000年デザイン・ヌーブ一級建築士事務所設立

高草大次郎 (たかくさ・だいじろう)
1972年滋賀県生まれ/1995年大阪大学工学部建築学科卒業/1995～99年内務省建築設計事務所/1999～2000年東京工業大学環境理工学創造専攻梅干野研究室研究生/2000～01年デザイン・ヌーブ参画/2001年高草大次郎建築設計事務所設立/2002年環境構造研究所共同設立

石福昭 (いしふく・あきら)
1930年東京都生まれ/1951年早稲田大学第一理工学部建築学科卒業/1959年同大学大学院理工学研究科修士課程修了/1978年工学博士号取得/1959～1981年日建設計技師長/1981～1990年宇都宮大学教授/1990～1996年早稲田大学教授/1996年～2001年早稲田大学大学院客員教授/現在、建築設備綜合協会会長

仙田満 (せんだ・みつる)
1941年神奈川県生まれ/1964年東京工業大学建築学科卒業/1964～68年菊竹建築設計事務所/1968年環境デザイン研究所設立/1992年～東京工業大学工学部建築学科教授/2001年～日本建築学会会長

古市徹雄 (ふるいち・てつお)
1948年福島県生まれ/1973年早稲田大学理工学部建築学科卒業/1975年同大学大学院修士課程 (池原義郎研究室) 修了後、丹下健三・都市・建築設計研究所/1986～88年KUWAIT EAST ENGINEERING/1988年古市徹雄都市建築研究所設立、早稲田大学非常勤講師/1999年日本大学工学部建築学科大学院講師/2001年～千葉工業大学工学部建築学科専任教授

山本理顕 (やまもと・りけん)
1945年中国・北京市生まれ/1968年日本大学理工学部建築学科卒業/1971年東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻修了後、東京大学生産技術研究所 (原研究室) /1973年山本理顕設計工場設立/2002年～工学院大学建築学科教授

高松伸 (たかまつ・しん)
1948年島根県生まれ/1980年京都大学大学院工学研究科博士課程修了/1980年高松建築設計事務所設立/1997年～京都大学大学院工学研究科教授

隈研吾 (くま・けんご)
1954年神奈川県生まれ/1979年東京大学建築学科大学院修了/1985～86年コロンビア大学建築・都市計画学科客員研究員、ASIAN・CULTURAL・COUNCIL給費研究員/1987年空間研究所設立/1990年隈研吾建築都市設計事務所設立/1998年慶応義塾大学環境情報学部環境情報学特別招聘教授/2001年～同大学理学部教授

早草睦恵 (はやくさ・むつえ)
1963年東京都生まれ/1986年東京大学工学部建築学科卒業/1988～91年日本設計/1991年セルスペース設立 (1994年まで共同主宰) /1998年～日本大学非常勤講師/2000年～東京大学、東京理科大学非常勤講師

川久保玲 (かわくぼ・れい)
1969年コムデギャルソンの名称で婦人服製造・販売開始/1975年株式会社コムデギャルソン設立/1981年パリコレクションに参加、輸入業務開始/現在、7ブランドのデザイン、すべての店舗デザインとディレクションを手がける

川崎隆雄 (かわさき・たかお)
1944年神奈川県生まれ/桑沢デザイン研究所卒業/1978年カワサキ・タカオ・オフィス設立/コムデギャルソンの一連の店舗を手がける

塚本平一郎 (つかもと・へいいちろう)
1950年東京都生まれ/1975年早稲田大学大学院理工学研究科卒/1975年鹿島建設建築設計本部建築設計部/1976年鹿島出版会SD編集部出向/1977年建築設計本部 建築設計部/1987年KAJIMA INTERNATIONAL INC. (LOS ANGELES)出向/1994年～建築設計・エンジニアリング本部建築設計部グループ・グループリーダー

村上周三 (むらかみ・しゅうぞう)
1942年愛媛県生まれ/1965年東京大学工学部建築学科卒業/1972年同大学大学院修士課程修了、工学博士/1985～2001年東京大学生産技術研究所教授/2001年～慶應義塾大学理工学部教授/内閣内政審議室「地球温暖化問題への国内対策に関する関係審議会合同会議」委員、国土交通省「室内化学物質問題研究会」委員長、「CASBEE開発委員会」委員長

遠藤純子 (えんどう・じゅんこ)
1969年東京都生まれ/1993年東京農工大学農学部環境保護学科卒業/1996年マクオリー大学大学院修士課程修了 (環境学) /1997年環境事業団地球環境基金部/1998年～日建設計東京環境計画室/2001年文部科学省「環境を考慮した学校施設に関する調査研究協力者会議」専門部会協力者/CASBEE開発委員会」事務局

奥山恵美子 (おくやま・えみこ)
1951年秋田県生まれ/1974年東北大学経済学部卒業/1975年仙台市役所入庁消費経済課、事務管理課等で勤務/1993年市民局女性企画課長/1997年教育委員会生涯学習課長、せんだいメディアテーク建設事業を担当/2001年せんだいメディアテーク館長/2002年仙台市民図書館館長を兼務

小川直人 (おがわ・なおと)
1975年宮城県生まれ/1998年東北大学教育学部卒業/2000年東北大学大学院教育学研究科博士課程前期修了/2000年 (仮称) せんだいメディアテーク準備室/現在、せんだいメディアテーク企画・活動支援室

佐藤泰 (さとう・やすし)
1952年宮城県生まれ/1976年東北大学文学部卒業/1976～94年仙台市博物館学芸員/1994～99年仙台市生涯学習課でメディアテーク建設を担当/1999～2000年仙台ひと・まち交流財団メディアテーク準備室長/2000年～せんだいメディアテーク企画・活動支援室長

ヨコミゾマコト (よこみぞ・まこと)
1962年神奈川県生まれ/1984年東京芸術大学卒業/1986年同大学院修了/1986～89年同大学非常勤助手/1998～2000年伊東豊雄建築設計事務所/2001年aat+ヨコミゾマコト建築設計事務所設立

千葉学 (ちば・まなぶ)
1960年東京都生まれ/1985年東京大学工学部建築学科卒業/1987年同大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了/1987～93年日本設計/1993年ファクター エヌアソシエイツ共同主宰/1993～96年東京大学工学部建築学科キャンパス計画室助手/1998年～東京大学大学院建築学専攻安藤研究室助手/2001年千葉学建築計画事務所設立/現在、同大学院建築学専攻助教授、日本女子大学、法政大学非常勤講師

藤本壮介 (ふじもと・そうすけ)
1971年北海道生まれ/1994年東京大学工学部建築学科卒業/2001年藤本壮介建築設計事務所設立

志水正弘 (ししみず・まさひろ)
1930年愛知県生まれ/1955年早稲田大学理工学部建築学科卒業/1955年城戸武男建築事務所/1960年志水正弘建築事務所設立/1965年名城大学教授/2002年名城大学退官

林公子 (はやし・きみこ)
1942年愛知県生まれ/1965年名城大学建設工学科建築分科卒業/1965年名城大学助手/1990年～名城大学講師

堀部安嗣 (ほりべ・やすし)
1967年神奈川県生まれ/1989年筑波大学芸術専門学群環境デザインコース卒業/1991～94年益子アトリエ/1994年堀部安嗣建築設計事務所設立

中村好文 (なかむら・よしひみ)
1948年千葉県生まれ/1972年武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業/1972～74年穴道建築設計事務所/1975年東京都品川職業訓練校木工科/1976～80年吉村順三設計事務所/1981年レミングハウス設立/1999年～日本大学生産工学部居住空間デザインコース教授

椎名英三 (しいな えいぞう)
1945年東京都生まれ/1967年日本大学理工学部建築学科卒業/1968年宮脇建築研究室/1976年椎名英三建築設計事務所を設立/現在 日本大学理工学部建築学科講師/日本女子大学家政学部住居学講師

藤本隆男 (ふじもと・たかお)
1946年山形県生まれ/1969年東京都立大学工学部建築工学科卒業/1971～90年坂倉建築研究所/1990年藤本隆男建築研究所設立/1995～2001年東京都立大学工学部建築学科助教授/2001年～芝浦工業大学特任教授、東京都立大学客員教授

圓山彬雄 (まるやま・よしお)
1942年新潟県生まれ/1967年北海道大学大学院修士課程修了/1968年室蘭工業大学

講師/1971年上野野建築事務所入所/1979年アープ建築研究所設立/現在、北海道工業大学講師

遠藤秀平 (えんどう・しゅうへい)
1960年滋賀県生まれ/1986～88年石井修・美建築設計事務所/1988年遠藤秀平建築研究所設立

高俊民 (こう・しゅんみん)
1946年東京都生まれ/1968年コロンビア大学数学科卒業/1972年ハーバード大学大学院建築学部修士課程修了/1972～73年セルト・ジャクソン・アンド・アソシエイツ (ケンブリッジ) /1973～76年丹下健三・都市建築設計研究所/1977年柴田・高設計プランニング事務所設立/1982年SKM設計計画事務所に改称/1987年アークノバ建築研究所設立/1988年マギール大学建築学部客員教授 (モントリオール) /1992～98年日本大学理工学部非常勤講師

安藤忠雄 (あんどう・ただお)
1941年大阪府生まれ/建築を独学/1969年安藤忠雄建築研究所設立/1997年～東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授/現在、阪神・淡路震災復興支援10年委員会の実行委員長として被災地の復興に尽力

国広ジョージ (くにひろ・じょーじ)
1951年東京都生まれ/1964年渡米/1974年カリフォルニア大学バークレー校環境デザイン学部建築学科卒業/1976年ハーバード大学建築学科修士課程修了/1981年ジョージ国広アーキテクト設立 (ロサンゼルス) /1983年ニューヨーク事務所開設/1987～90年イェール大学、コロンビア大学、ハーバード大学、ニュージャージー工科大学客員助教授/1997年拠点を東京に移し、ジョージ国広アーキテクト東京事務所開設/1998年～国士館大学工学部建築学科助教授

小倉善明 (おくら・よしあき)
1937年東京都生まれ/1962年東京大学工学部建築学科卒業後、日建設計/1967年ハーバード大学大学院修士課程修了/1991～2001年日建設計常務取締役/2001年～日建設計技術顧問、NUI日建設計都市・建築研究所長

松原弘典 (まつばら・ひろのり)
1970年東京都生まれ/1995年東京芸術大学美術学部建築科卒業/1996年モスクワ建築大学研究生/1997年東京大学大学院工学系研究科修了/1997～2001年伊東豊雄建築設計事務所/2001～02年瀋陽市規劃設計研究院勤務 (中国遼寧省) /2002年～北京大学建築学研究センター勤務

伊東豊雄 (いとう・とよお)
1941年長野県出身/1965年東京大学工学部建築学科卒業/1965～69年菊竹清訓建築設計事務所/1971年URBOT設立/1979年伊東豊雄建築設計事務所名称変更

近角真一 (ちかすみ・しんいち)
1947年北海道生まれ/1971年東京大学工

学部建築学科卒業/1971～78年建築設計事務所/1979年近角建築設計事務所/1985年集工舎建築都市デザインに改称

大嶋信道 (おおしま・のぶみち)
1960年鳥取県生まれ/1984年東京大学造形学部建築学科卒業/建築を経て、1990～94年東京大学工学部建築学研究会/1991年大嶋ア

松原忠策 (まつばら・ちゅうさく)
1939年東京都生まれ/1961年早稲田大学第一理工学部建築学科卒業後、松本設計事務所 (現 松田平田設計) ~2000年日本建築学会副会長、松田平田設計取締役副社長、日本建築事関東東甲信越支部長

石田敬明 (いしだ・としあき)
1950年広島県生まれ/1973年広島大学工学部建築学科卒業/1973～80年豊雄建築設計事務所/1982年石田設計事務所設立/1997年～前橋工科大学工学研究科教授

安田幸一 (やすだ・こういち)
1958年神奈川県生まれ/1981年早稲田大学工学部建築学科卒業/1983年同大学院修士課程修了/1988～90年/ド・チュミ・アーキテクト・ニューヨーク/1989年イェール大学建築学専攻修了/1983～2002年日建設計/2002年東京工業大学大学院助教授

山代悟 (やましろ・さとる)
1969年島根県生まれ/1993年東京大学建築学科卒業、アートユニット Responsive Environment共同主宰、年東京大学大学院修士課程修了/2002年横総合計画事務所/2002年事務所ビルディングランドスケープ設計主宰/現在、東京大学大学院建築学手

# 新建築

SHINKENCHIKU:2003

3

